

明治四十三年より昭和四年に至る二十年間に於ける
日本銀行の制度組織及施設の沿革を載録した待望の書。

日本銀行沿革史

第二輯

全十七巻19冊

クレス出版

日本銀行沿革史 第二輯 刊行にあたって

ここに、研究者渴望の資料であった『日本銀行沿革史』第二輯全十七卷（19冊）の完全復刻版を世に送る。

『日本銀行沿革史』は日本銀行がその創業以来の制度、組織、営業等その所掌事務の全般にわたる沿革を部門別にとりまとめ、内部資料として印刷に付したもので、一定時期ごとに区分されて編集・刊行される。「第二輯」の対象期間は明治四十三年から昭和四年までであり、全十七巻の総ページ数は約二万一千ページにもおよんでいる。同書は、活版刷、ハードカバー製本の立派な図書形態をそなえているにもかかわらず、あくまで銀行内部の執務参考資料用であって印刷部数は極めて少なく（第二輯は公称七〇部）、市販されないのももちろん、あくまで内容的には暫定的な部内資料であることを理由に、部外者への供用は全く考慮されていない。

『日本銀行沿革史』の内容は、日本銀行の抱える膨大な原資料とその整理にあたる優秀なスタッフの存在を反映しており、日本銀行史研究の第一級の基礎資料であることはいうまでもない。作成部数が極めて限られていることは、部分的には第一次資料としての価値をも有することを意味している。その存在は部外にも広く知られるようになり、理由は不明ながら一般に利用可能な状態で保存されているものもあって、これを利用した研究も現れている。しかし依然として、極めてアクセス困難な、「うわさの資料」のひとつなのである。

当社は、財政・金融等の基本的な歴史資料・基礎統計の復刻刊行に努めてきた。『日本銀行沿革史』第二輯の復刻もその一環であり、いささかながら世の研究者の期待に応えられるものと確信している。また、当社は、世の多くの研究者とともに、日本銀行が、『日本銀行沿革史』をはじめとする各種の歴史的資料の公開に関し、より積極的に取り組まれるように切に望むものである。

編纂要綱

- 一、明治四十三年一月以降昭和四年末に至る二十年間に於ける日本銀行の制度組織及施設の沿革を載録。
- 二、構成は沿革類纂及沿革提要の二部に大別し、第一部沿革類纂は、総説、營業、兌換銀行券補助貨及小額紙幣、国庫、国債及庶務の六編とし、それぞれ事項別にその沿革を叙述する。また第二部沿革提要は、前記期間に於ける日本銀行に関する重要事項の全般に亙り編年体でその要旨を記録。
- 三、第一部各編は、索引上の便宜を旨とし、事項別に章、節を設けて分類を密にして、沿革を記録。関係公文は成るべくその原文を掲載し、大正十二年の大震災で失った資料は、牽連の資料を求めて記述。
- 四、五十音順索引を設けて記載事項直接の搜索の便をはかつている。
- 五、特殊の施設に関しては必要に応じて、その当時に於ける財界状況を概述。

日本銀行沿革史 第二輯 構成

第一部 沿革類纂

第一卷

- 第一編 總 說一
- 第一章 日本銀行條例及定款
- 第二章 内規及内規施行規定
- 第三章 資本金株式及利益金分配
- 第四章 支店出張所ノ廢置並局部組織ノ改正
- 第五章 本支店及代理店検査並取引先銀行調査
- 第六章 調査及統計
- 第七章 監理官

第五卷

- 第四編 國 庫
- 前編 金庫制度一
- 第一章 一般
- 第二章 歳入部
- 第三章 歳出部
- 第四章 振替及練替
- 第五章 雑部
- 第六章 特別會計歳入歳出部

第十一卷

- 第四編 國 庫
- 後編 國庫預金制度五
- 第六章 政府預金
- 第七章 代理店資金
- 第十二卷
- 第四編 國 庫
- 後編 國庫預金制度六
- 第八章 供託
- 第九章 震災善後處理

第二卷

- 第一編 總 說二
- 第八章 計算整理

第六卷

- 第四編 國 庫
- 前編 金庫制度二
- 第七章 預金部
- 第八章 戦地ニ於ケル國庫金ノ収支及整理
- 第九章 現金運轉
- 第十章 計算、決算及證明
- 第十一章 金庫出納區域其ノ他
- 第十二章 代理店ニ給與スル國庫國債事務取扱料
- 第十三章 代理店

第十三卷

- 第五編 國 債一
- 第一章 總 說
- 第二章 起 債
- 第十四卷
- 第五編 國 債二
- 第三章 證 券
- 第四章 登 録
- 第五章 元 利 拂
- 第十五卷
- 第五編 國 債三
- 第六章 震災喪失國債ノ救済處理
- 第七章 手 數 料
- 第八章 帳簿計表
- 第九章 各種國債ノ起債及償還

第三卷

- 第二編 業
- 第一章 手形割引
- 第二章 銀行引受手形及本行承認為替銀行賣出手形
- 第三章 外國為替貸付金
- 第四章 定期貸
- 第五章 政府貸上金
- 第六章 當座勘定及各種預金
- 第七章 為 替
- 第八章 擔保品取扱方
- 其 一 割引貸付擔保品(有價證券擔保)
- 其 二 割引貸付擔保品(商品擔保)
- 其 三 文書局主管根抵當品及保證品
- 其 四 擔保品ニ關スル契約書
- 第九章 取引銀行信用調査並取引先ノ變遷
- 第十章 公債賣買
- 第十一章 地金賣買
- 第十二章 成貨拂渡
- 第十三章 保護預
- 第十四章 手形交換並當座引落
- 第十五章 現金及地金ノ出納保管
- 第十六章 有價證券出納保管
- 第十七章 雜 件

第七卷

- 第四編 國 庫
- 後編 國庫預金制度一
- 第一章 沿革
- 第二章 總 說
- 第三章 金庫事務引繼
- 第八卷
- 第四編 國 庫
- 後編 國庫預金制度二
- 第四章 國庫金出納
- 第九卷
- 第四編 國 庫
- 後編 國庫預金制度三
- 第四章 國庫金出納

第十六卷

- 第六編 庶 務
- 第一章 重役及行員ノ異動
- 第二章 使用人ノ進退及服務
- 第三章 退職手当(恩給)
- 第四章 行員身元保證金
- 第五章 行員貯蓄金
- 第六章 經 費
- 第七章 土地建物
- 第八章 金庫管理
- 第九章 行内警備及宿直
- 第十章 保 管
- 第十一章 文書取扱
- 第十二章 雜 件

第四卷

- 第三編 兌換銀行券補助貨及小額紙幣
- 第一章 兌換銀行券
- 第二章 補助貨
- 第三章 小額紙幣

第十卷

- 第四編 國 庫
- 後編 國庫預金制度四
- 第四章 國庫金出納
- 第五章 政府有價證券取扱

第二部 沿革提要

- 第十七卷 沿革提要(附)索引

第九章 取引銀行信用調査並取引先ノ變遷

第一節 取引銀行信用調査

第一 概 說

明治三十九年十二月十九日調査局長伺定ヲ以テ取引銀行調書取扱手續ヲ制定シ、本行取引先悉皆ニ付遠ク明治三十年上半季以降當時ニ至ル迄ノ調書ヲ作成シテ其ノ原本ヲ調査局ニ備置キ、尙爾後每半季分調書ヲ次季營業豫算明治四十五年下半季ヨリ貸出標準調ノ參考書トシテ提出セシムルコト、ナセリ

右銀行調書ノ様式ハ其ノ後大正五年ニ至リ銀行條例施行細則改正實施ニ伴ヒ變更ヲ加ヘラレ、從テ每半季提出スヘキ調書附屬表ノ様式モ改正セラレタルカ、大正十一年二月貸出標準定メ方ニ關スル手續改正ノ結果標準調第二號表ヲ以テ從來ノ每半季調書附屬表ニ代用スルコト、シタルヲ以テ右附屬表ノミハ同年下半季分ヨリ別ニ其ノ提出ヲ要セサルコト、ナレリ

大正十二年九月ノ震災ニ因リ審査部備付(大正十一年七月調査局ヨリ移管)ノ取引銀行調書原本ハ全部焼失スルニ至リシヲ以テ、翌十三年八月審査部ハ各店ニ依頼シテ夫々取引先ノ業態及本行ト

日本銀行沿革史 第二輯 全十七卷19冊

● B5判／上製丸背／クロス装函入／解題付（最終巻）
 ● 全十七巻19冊揃定価七六四、二六〇円（税込）

第一巻	總 説一	定価三、六〇〇円（本体三、〇〇〇円）
第二巻	總 説二	定価三、六〇〇円（本体三、〇〇〇円）
第三巻	營 業（2冊）	定価五、三〇〇円（本体四、〇〇〇円）
第四巻	兌換銀行券補助貸及小額紙幣	定価三、三〇〇円（本体三、〇〇〇円）
第五巻	國 庫 金庫制度一	定価三、九〇〇円（本体三、〇〇〇円）
第六巻	國 庫 金庫制度二	定価四、九〇〇円（本体四、〇〇〇円）
第七巻	國 庫 國庫預金制度一	定価四、三〇〇円（本体四、〇〇〇円）
第八巻	國 庫 國庫預金制度二	定価六、八〇〇円（本体六、〇〇〇円）
第九巻	國 庫 國庫預金制度三	定価四、四〇〇円（本体四、〇〇〇円）
第十巻	國 庫 國庫預金制度四	定価四、三〇〇円（本体四、〇〇〇円）
第十一巻	國 庫 國庫預金制度五	定価七、八〇〇円（本体七、〇〇〇円）
第十二巻	國 庫 國庫預金制度六	定価三、九〇〇円（本体三、〇〇〇円）
第十三巻	國 債一（2冊）	定価六、一〇〇円（本体五、〇〇〇円）
第十四巻	國 債二	定価五、五〇〇円（本体五、〇〇〇円）
第十五巻	國 債三	定価四、二〇〇円（本体四、〇〇〇円）
第十六巻	庶 務	定価五、五〇〇円（本体五、〇〇〇円）
第十七巻	沿革提要	定価一八、五〇〇円（本体一八、〇〇〇円）

§ 配本予定

- 第一回配本全3冊（第一巻、第三巻）
 揃定価九六、八二〇円（本体九四、〇〇〇円）
 一九九一年九月二十五日刊
- 第二回配本全3冊（第四巻、第五巻、第六巻）
 揃定価九九、九一〇円（本体九七、〇〇〇円）
 一九九二年一月二十五日刊
- 第三回配本全2冊（第二巻、第七巻）
 揃定価一一、二四〇円（本体一〇八、〇〇〇円）
 一九九二年四月二十五日刊
- 第四回配本全2冊（第八巻、第九巻）
 揃定価一一〇、二一〇円（本体一〇七、〇〇〇円）
 一九九二年八月二十五日刊
- 第五回配本全3冊（第十巻、第十一巻、第十二巻）
 揃定価一〇八、一五〇円（本体一〇五、〇〇〇円）
 一九九二年十二月二十日刊
- 第六回配本全3冊（第十三巻、第十四巻）
 揃定価一一一、五四〇円（本体一一八、〇〇〇円）
 一九九三年三月二十日刊
- 第七回配本全3冊（第十五巻、第十六巻、第十七巻）
 揃定価一一六、三九〇円（本体一一三、〇〇〇円）
 一九九三年八月二十五日刊



株式会社 **クレス出版**

〒103 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 ×ロ-ナ日本橋
 ☎03(3808)1821 FAX03(3808)1822 振替東京8-410426